

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

当金庫は、「街のベストパートナーひらしん」を掲げ、お客さま視点に立ったサービスの提供をすることで地域の皆さまと共に歩むことを目指しております。この理念の実現に向け、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を定め、お客さまの安定的な資産形成のため、良質な商品とサービスを提供することによって、お客さまの最善の利益を追求してまいります。

なお、本方針はお客さま視点に立ち、必要に応じて見直しを行ってまいります。

1. お客さまのニーズに適した様々な商品ラインアップをご提供します

投資信託、保険商品の取扱商品を決定する際は、お客さまのニーズやご意向を十分に把握し、お客さまに合わせた資産形成にお役に立つ商品をご提案いたします。

2. 充実した情報の提供と分かりやすいご説明を行います

- ① 投資目的や、投資経験、資産状況に合わせて、お客さまにふさわしい情報をご提供いたします。
- ② ご提案、ご説明にあたっては、各種資料やパンフレット等を用いて、分かりやすい丁寧なご提案、ご説明をいたします。
- ③ お客さまにご負担いただく手数料その他費用について、具体的に分かりやすくご説明いたします。

3. お客さまにふさわしい商品、サービスをご提供します

- ① お客さまのライフプランやニーズ、ご意向に則した、最適なサービスをご提案いたします。
- ② 商品のご購入後も、安心してお取引いただけるよう、お預りしている資産に関する運用状況について丁寧なご説明で情報提供をいたします。
- ③ 市場環境や金融経済動向に関する情報提供やセミナー、勉強会等を開催するなど、投資判断に役立つ情報の提供に努めます。

4. お客さまが安心して資産形成を実現できるための体制を整備します

- ① お客さまとのお取引において、お客さまの利益が不当に害されること（利益相反）のないよう、お取引を適切に管理いたします。
- ② お客さま一人ひとりに合わせた最適な金融商品のご提案やサービスのご提供ができるよう、コンサルティングができる人材を育成してまいります。
- ③ 職員研修の実施や資格取得を奨励し、金融経済に関する専門知識や技能の向上に努めます。
- ④ お客さまの声を反映した、お客さま本位の営業活動を職員が適切に取り組むように、評価制度の整備に努めます。

平成30年4月1日制定

本取組みにおける 実践状況及び成果指標(KPI)について (令和6年3月末時点)

当金庫は、お客さまの安定的な資産形成に資することを目的として「お客さま本位」の業務運営を実践するため、取組み状況及び令和6年3月末時点での成果指標(KPI)を公表いたします。

令和6年8月公表
TRibank Hiratsuka
平塚信用金庫



取組方針1.お客さまのニーズに適した様々な商品ラインアップを提供します。

- 商品の見直しは、年1回実施しラインアップを一層充実して参ります。
- お客さまのリスク許容度に応じた提案ができるよう、商品カテゴリの分散をしております。

令和5年度は、令和6年1月4日からスタートした新NISAで対象となるファンドにするため新NISAにて対象外となる13のファンドを販売中止し、新たに7つのファンドを追加し全体の入替を行いました。

投資対象	商品数 (※1)		
	令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末
債券	6	6	2
株式	19	21	23
不動産 (リート)	6	6	4
バランス	8	8	6
その他 資産	1	1	1
合計(※2)	40	42	36

※1. 商品数は、投資地域（国内・国内外・海外）の合計。
 ※2. 合計は、新NISAのつみたて投資枠専用ファンドを含む。

《株式系》

○海外消費関連日本株ファンド【クール・ジャパン】《国内株式》

日本の上場株式を主要投資対象とし、海外市場での消費の高度化や訪日外国人の消費拡大で収益の増加が期待される企業の株式に投資を行うファンド。

○年金積立Jグロース【つみたてJグロース】《国内株式》

成長性が高く、株主への利益還元が期待できる株式に投資します。TOPIXの動きを上回る投資成果の獲得を目指すファンド。

○ウォルター・スコット優良成長企業ファンド（資産成長型）《内外株式》

日本を含む世界の株式の中から、持続的な成長力を有すると判断される企業の株式に投資するファンド

○SMT米国株配当貴族インデックス・オープン《海外株式》

米国の金融商品取引所に上場している株式などを主要投資対象とし、S&P500配当貴族指数に連動する投資成果を目指すファンド。

○インデックスファンドNASDAQ100（アメリカ株式）《海外株式》

米国の金融商品取引所に上場している株式などを主要投資対象とし、NASDAQ100指数の動きに連動する投資成果を目指すファンド。

《バランス系》

○スマート・ファイブ（1年決算型）《内外バランス》

収益が期待できる5つの資産を投資対象とし、基準価額の変動を抑えながらも、収益の確保を目指すファンド。

《不動産系》

○しんきんJリートオープン（隔月決算型）【六つの果実】《国内不動産投信》

日本の証券取引所上場の不動産投資信託（リート）を実質的な投資対象とし、東証REIT指数をベンチマークとしたファンドです

平塚信用金庫では、お客さまに対し積立投信を含め“時間分散”による「ドルコスト平均法」を効果的に活用するような提案を行っています。現在、多くの投信ファンドを取り扱っており、アフターフォローの際に、お客さまの選択肢の幅を広げながらファンド提案することが可能となります。

取組方針1.お客さまのニーズに適した様々な商品ラインアップを提供します。

- お客さまの要望に添えるようノーロード(「販売手数料」がかからない)ファンドも取り揃えております。
- 新NISAのスタートにより投資を新たに始める方も増えているほか、既に投資を行っている方でもNISAの利用限度額が増えたことにより、「成長投資枠」と「つみたて投資枠」を活用し、投資額を増やす方も多くなってきました。
- 取り扱いファンド36のうち、9つのノーロードファンドを取り扱っており、その内7つのファンドは新NISAにおけるつみたて投資枠専用ファンド(ノーロード商品)となります。

区分(※)	商品数		
	令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末
ノーロードファンド	8	9	9
ロードファンド	32	33	27

※ロードとは、ファンドの販売手数料のことを意味します。

当金庫のノーロードファンドは主に『今まで投資経験が無い』、『投資信託を始めたばかり』等の投資初心者のお客さま向けのファンドであります。

新NISAの「つみたて投資枠」専用商品(7種類)のほかに、「成長投資枠」で購入可能な「ドルマネーファンド」(海外債券系)や「しんきんインデックスファンド225」(国内株式系)の2種類の合計9種類のファンドとなります。

取組方針 2. 充実した情報の提供と分かりやすいご説明を行います。

- 投資目的や投資経験、資産状況などに合わせて、手数料等を含め、お客さまが必要とする情報を分かりやすく説明し、商品をお選びいただいております。

〈投資信託の販売件数上位5ファンド〉

	令和3年度 ＜販売手数料率＞	令和4年度 ＜販売手数料率＞	令和5年度 ＜販売手数料率＞
1位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 【健次】 ＜3.30%＞	たわらノーロード先進国株式 ＜0.00%＞	iFree S&P500インデックス ＜0.00%＞
2位	たわらノーロード先進国株式 ＜0.00%＞	たわらノーロードバランス（8資産均等型） ＜0.00%＞	たわらノーロード先進国株式 ＜0.00%＞
3位	たわらノーロードバランス（8資産均等型） ＜0.00%＞	iFree S&P500インデックス ＜0.00%＞	ダイワ・インド株ファンド ＜3.30%＞
4位	グローバルA Iファンド ＜3.30%＞	グローバルA Iファンド ＜3.30%＞	たわらノーロード日経225 ＜0.00%＞
5位	SMTグローバル株式インデックスオープン ＜2.20%＞ ※つみたてNISAの場合は0.00%	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 【健次】 ＜3.30%＞	たわらノーロード新興国株式 ＜0.00%＞

第1位の「iFree S&P500インデックス」は、米国の大手企業を中心に運用しており、好調な米国の経済成長の期待感や500銘柄と多くの銘柄に分散投資されている点が評価されました。また、知名度の高いファンドであり、若年層の契約も目立ちました。

第3位の「ダイワ・インド株」については、新興国であるインド国内の企業の株式に投資するファンドであり、人口増加と共に経済成長率も年々上昇している同国の将来的な成長期待が高まり、多くのお客さまに選ばれました。

また、ほかの3つのファンド（第2位「たわらノーロード先進国株式」、第4位「たわらノーロード日経225」、第5位「たわらノーロード新興国株式」）については、前年までの旧NISAにおける「つみたてNISA」、今年制度改正された新NISAにおける「つみたて投資枠」を活用するお客さまが増え、申込手数料のないノーロードファンドであることから、多くのお客さまに選ばれました。

特に、「たわらシリーズ」である3つのファンドは日本国内のほか、先進国及び新興国の株式へ投資するファンドであり、世界的な株式市場の活況を背景として多くのお客さまに選ばれました。

取組方針 3. お客様にふさわしい商品、サービスをご提供します。

- 資産形成を目的とするお客様に、毎月決まった金額で投資する積立型の投資信託をご提案し、年々契約数が増えています。
- 積立型の投資信託のご契約の中でも、「NISA(少額投資非課税制度)口座」をご活用するお客様が年々増加しています。

【積立型投資信託の累計契約数】

(単位：件)

積立型投資信託 契約累計数	令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末	対前期比
一般口座 特定口座	250	302	305	+3
NISA口座	857	1,445	2,524	+1,079
総 計	1,107	1,747	2,829	+1,082

【年間の契約件数】

契約種類	令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末	対前期比
一括買付	754	701	722	+21
定時定額	561	783	1,367	+584
合 計	1,315	1,484	2,089	+605

平塚信用金庫では、NISAを活用した積立型の投資信託の契約は増加傾向にあり投資経験のないお客様に対する長期・分散・積立による効果的な資産形成の提案を積極的に行っております。

また、一括買付でも「時間の分散」を活用し、国内外のマーケット状況を注視しながらタイミングを見計らい、分割購入するお客様が増加しました。

取組方針4. お客さまが安心して資産形成を実現できるための体制を整備します

- 金融経済にかかる専門知識、技能の習得を目指し、証券外務員(金融商品における専門家)の資格取得を推奨しています。
- お客さま一人ひとりに合わせた最適な金融商品・サービスの提供ができるよう、コンサルティングが可能な人材を育成していくため、ファイナンシャルプランナーの資格取得を奨励しています。

当金庫の証券外務員資格取得者数

区分	令和6年3月末	
登録者合計	331	人
全職員	331	人
取得率	100.0	%

当金庫のFP資格者数

技能等級	令和6年3月末	
1級	2	人
2級	87	人
3級	244	人
合計	333	人

※FPとは、ファイナンシャルプランニング技能士のことをいう

当金庫の証券外務員資格取得者〈内訳〉

区分	令和6年3月末	
第1種	125	人
第2種	322	人
内部管理責任者	107	人

投資信託の販売会社における 比較可能な共通成果指標(KPI)について (令和6年3月末時点)

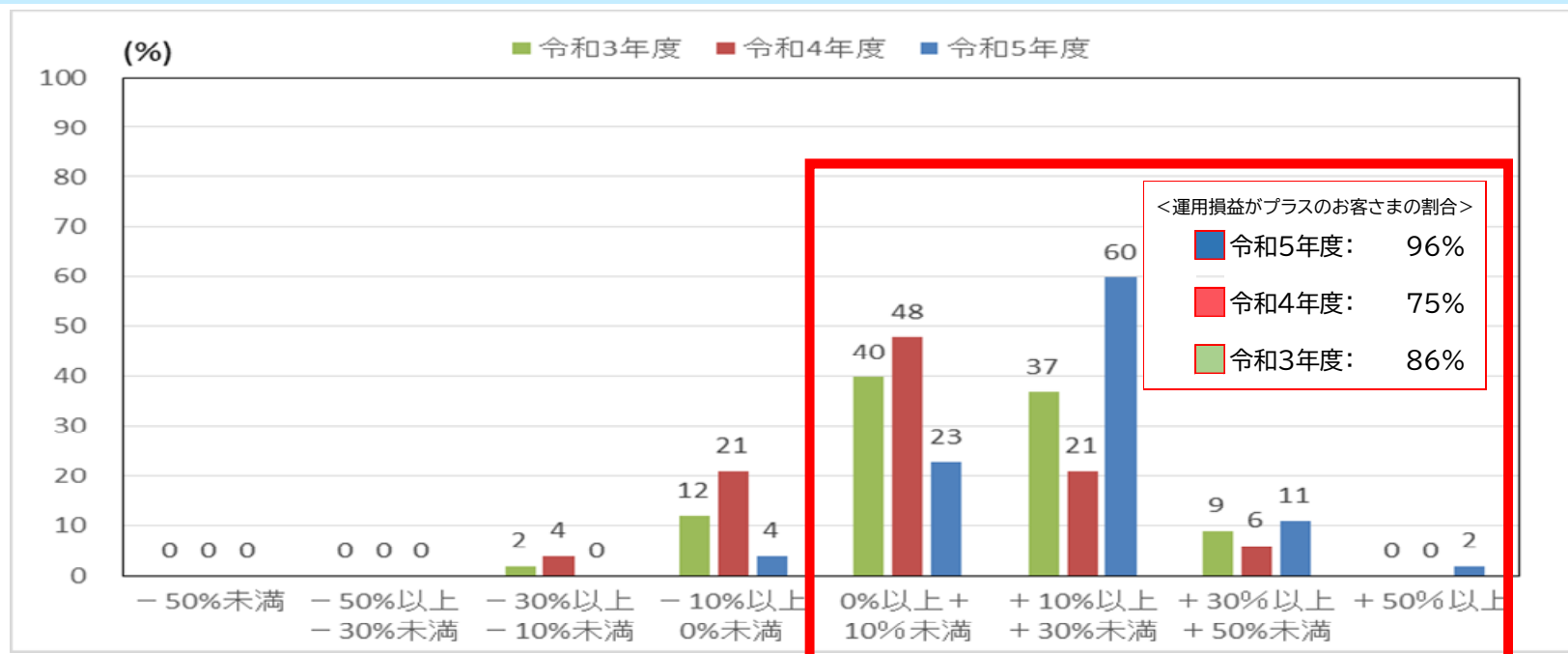
「共通成果指標(KPI)」は、長期的にリスクや手数料等に見合ったリターンがどの程度生じているかを数値化し、基準日時点の保有投資信託の運用実態をお客さま自身で比較していただくための指標です。



令和6年8月公表
TRibank Hiratsuka
平塚信用金庫

1. 運用損益別お客さま比率

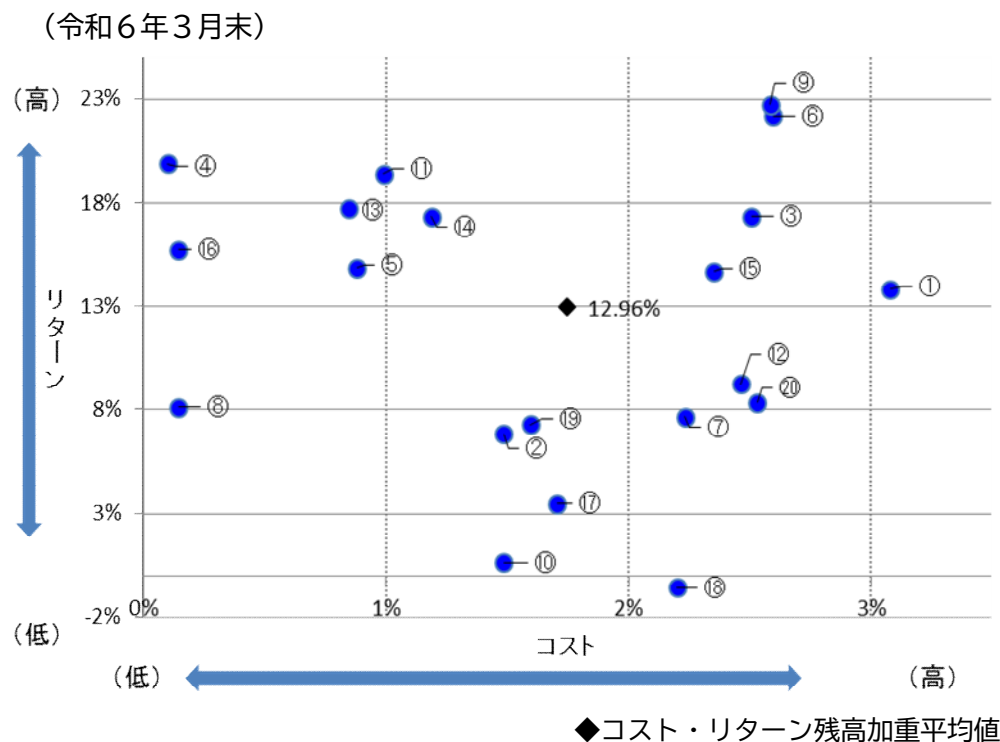
- 投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さま分布を示した指標です。
- この指標により、お客さま毎に保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか確認していただきます。
- 運用損益=ファンドの評価金額+税引後の累計受取分配金-累計買付金額(含、消費税込の販売手数料)



一括買付と定時定額を併用しているお客さまの場合、買付手数料のコスト吸収に約3年程度要します。
令和5年度に投信口座開設し（NISA口座を含む）投資信託の運用を開始したお客さまの数は増え（+ 4 7 6 口座）日本を含む世界的な株式市況の好調さを背景とし、一括買付及び定時定額を行うお客さまの運用実績がプラスのお客さまの割合が前年度よりも21ポイント増加しました。

2-①. 投信預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(令和5年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。



銘柄名
① グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
② しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
③ ダイワ・インド株ファンド
④ たわらノーロード 先進国株式
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
⑦ 新光 US-REIT オープン
⑧ たわらノーロード バランス(8資産均等型)
⑨ グローバルAIファンド
⑩ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
⑪ SMT グローバル株式インデックス・オープン
⑫ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
⑬ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
⑭ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
⑮ グローバルSDGs株式ファンド
⑯ たわらノーロード 日経225
⑰ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑱ 投資のソムリエ
⑲ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
⑳ 新成長株ファンド

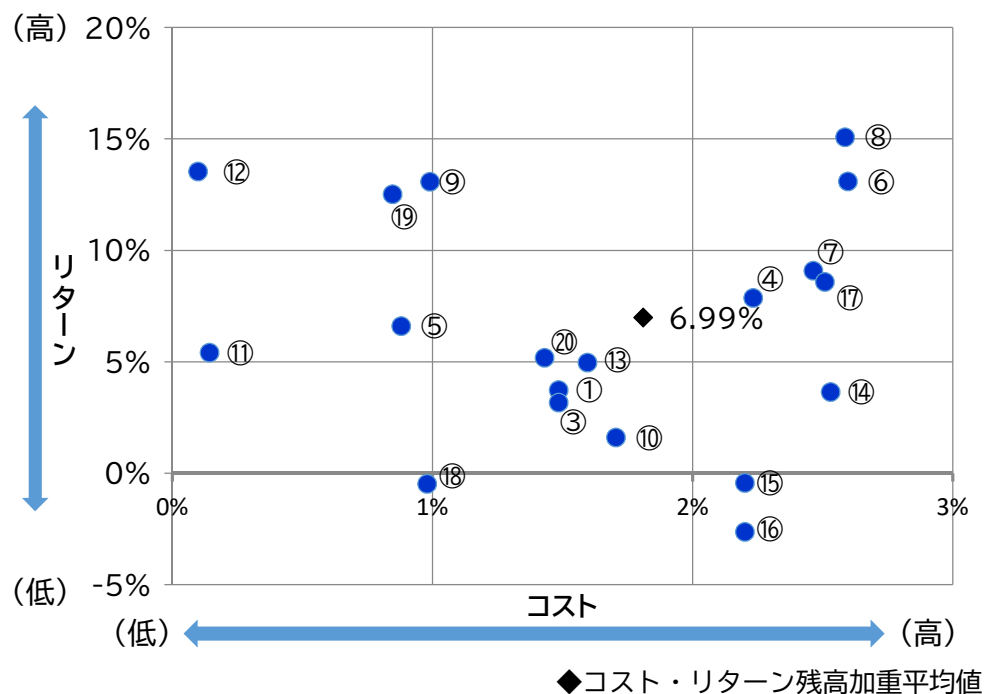
残高加重平均値	コスト	リターン
令和6年3月末	1.74%	12.96%
前年同期比	▲0.07pt	+5.97pt

コストは前期よりも若干低下し、リターンの上昇率は5.97ポイント上昇しました。これは前年度に比べ、国内株式及び米国株式の市況が好調な推移を見せたことにより、国内及び米国株式系ファンドのパフォーマンスが向上し株式系ファンドの買付が多かったことやノーロードの積立型投資信託の契約が多かったことによるものであります。

2-②. 投信預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(令和4年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(令和5年3月末)

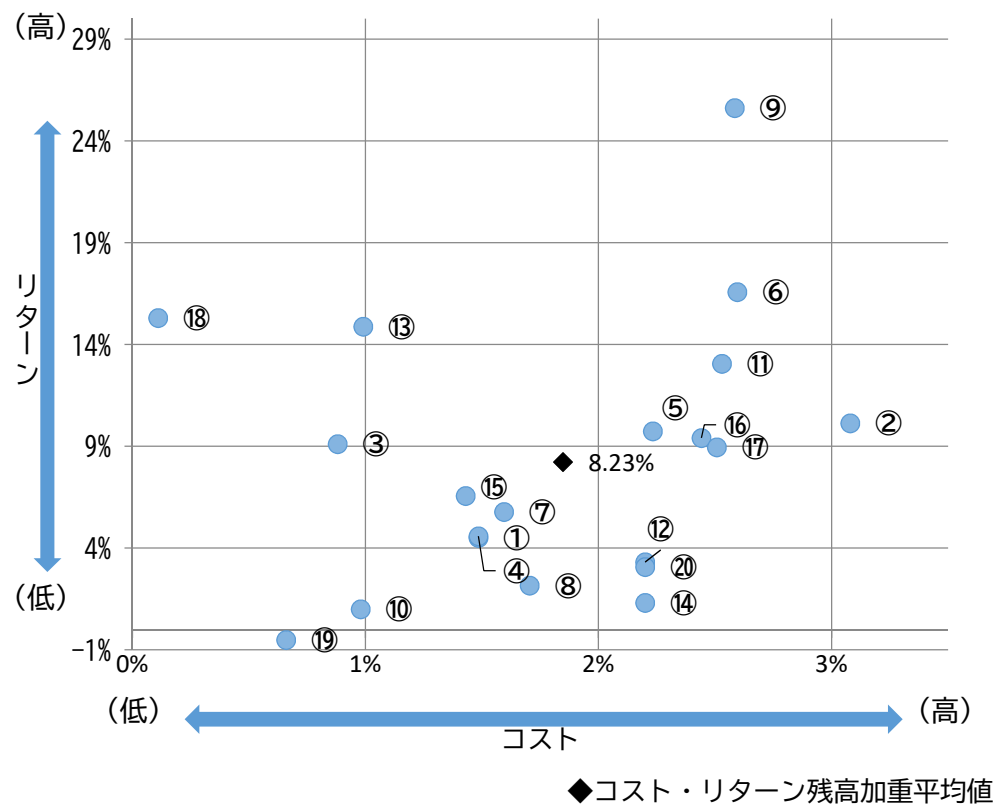


銘柄名
① しんきん3資産ファンド（毎月決算型）
② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③ しんきんJリートオープン（毎月決算型）
④ 新光US－REITオープン
⑤ しんきんインデックスファンド225
⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）
⑦ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）
⑧ グローバルAIファンド
⑨ SMTグローバル株式インデックス・オープン
⑩ グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）
⑪ たわらノーロードバランス（8資産均等型）
⑫ たわらノーロード先進国株式
⑬ しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）
⑭ 新成長株ファンド
⑮ 投資のソムリエ
⑯ 三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑰ ダイワ・インド株ファンド
⑱ リスク抑制世界8資産バランスファンド
⑲ ゴールド・ファンド（為替ヘッジなし）
⑳ 明治安田J－REIT戦略ファンド（毎月分配型）

残高加重平均値	コスト	リターン
令和5年3月末	1.81%	6.99%
前年同期比	▲0.04	▲1.24

2-③. 投信預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン(令和3年度末)

(令和4年3月末)



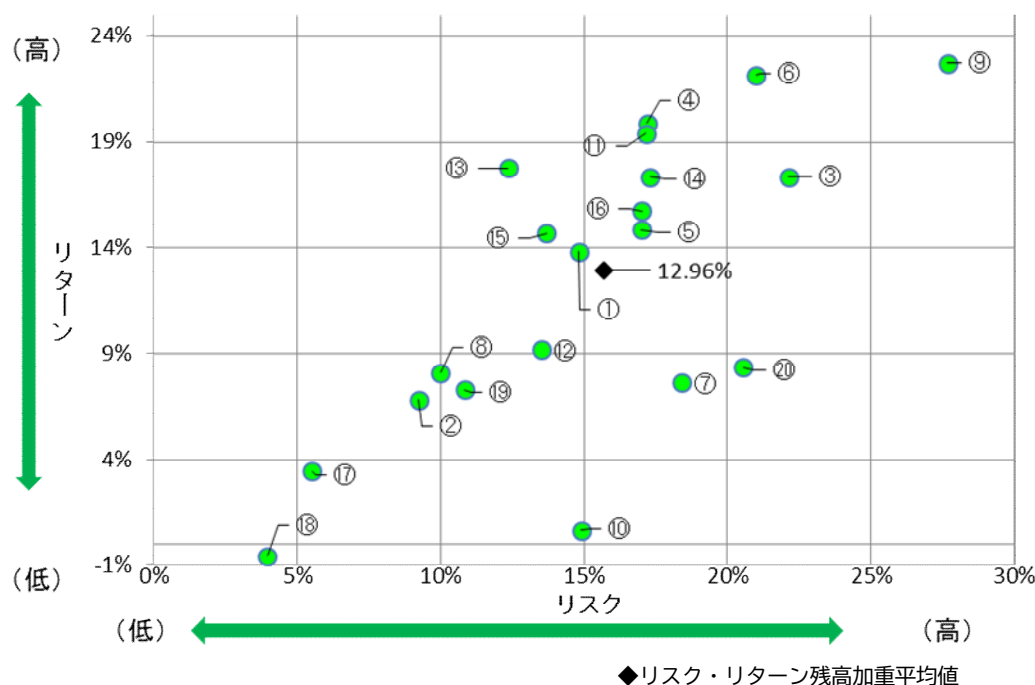
残高加重平均値	コスト	リターン
令和4年3月末	1.85%	8.23%
前年同期比	▲0.01	+2.03

銘柄名	
①	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)
②	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③	しんきんインデックスファンド225
④	しんきんJリートオープン (毎月決算型)
⑤	新光US-REITオープン
⑥	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)
⑦	しんきんグローバル6資産ファンド (毎月決算型)
⑧	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)
⑨	グローバルAIファンド
⑩	リスク抑制世界8資産バランスファンド
⑪	新成長株ファンド
⑫	三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑬	SMTグローバル株式インデックス・オープン
⑭	投資のソムリエ
⑮	明治安田J-REIT戦略ファンド (毎月分配型)
⑯	ワールド・インフラ好配当株式ファンド (毎月決算型)
⑰	ダイワ・インド株ファンド
⑱	たわらノーロード先進国株式
⑲	しんきん公共債ファンド
⑳	ニッセイ／パトナム・インカムオープン

3-①. 投信預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン(令和5年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(令和6年3月末)



銘柄名

- ① しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
- ② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
- ③ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
- ④ 新光US-REITオープン
- ⑤ しんきんインデックスファンド225
- ⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
- ⑦ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
- ⑧ グローバルAIファンド
- ⑨ SMTグローバル株式インデックス・オープン
- ⑩ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
- ⑪ たわらノーロードバランス(8資産均等型)
- ⑫ たわらノーロード先進国株式
- ⑬ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
- ⑭ 新成長株ファンド
- ⑮ 投資のソムリエ
- ⑯ 三井住友・げんきシニアライフ・オープン
- ⑰ ダイワ・インド株ファンド
- ⑱ リスク抑制世界8資産バランスファンド
- ⑲ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
- ⑳ 明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)

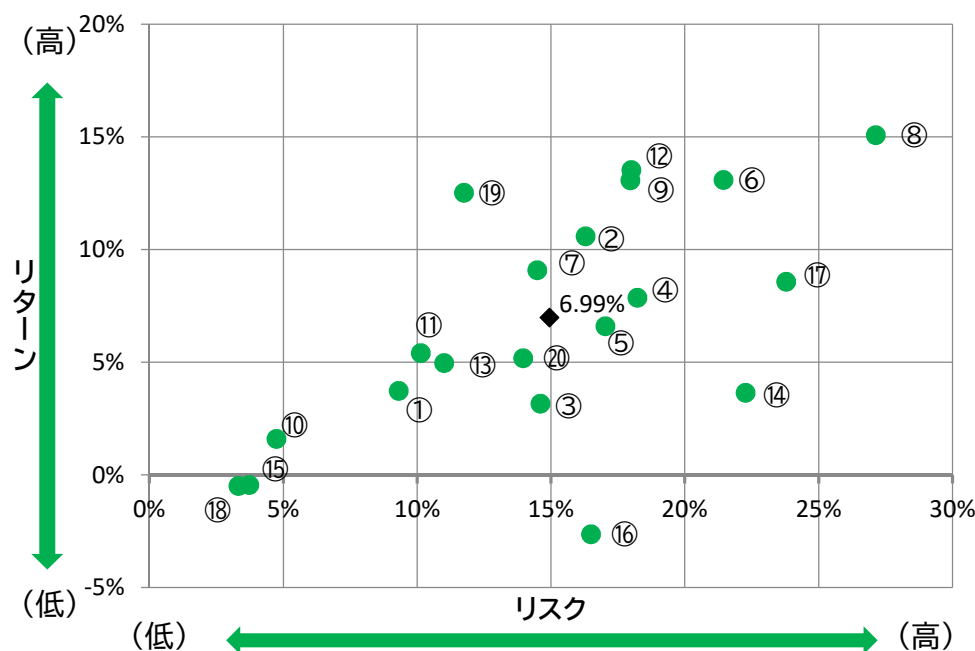
残高加重平均値	リスク	リターン
令和6年3月末	15.68%	12.96%
前年同期比	+0.75pt	+5.97pt

昨年度比でリスクは0.75pt増加しリターンも5.97pt増加しておりますが、米国等の外国株式系のリスクランクが比較的高いファンドを購入するお客さまが増え、世界的に株式市況が好調であった影響により、個別ファンドのパフォーマンスが平均的に高まったためであります。

3-②. 投信預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン(令和4年度末)

- 設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- この指標により、当金庫がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認いただけます。

(令和5年3月末)



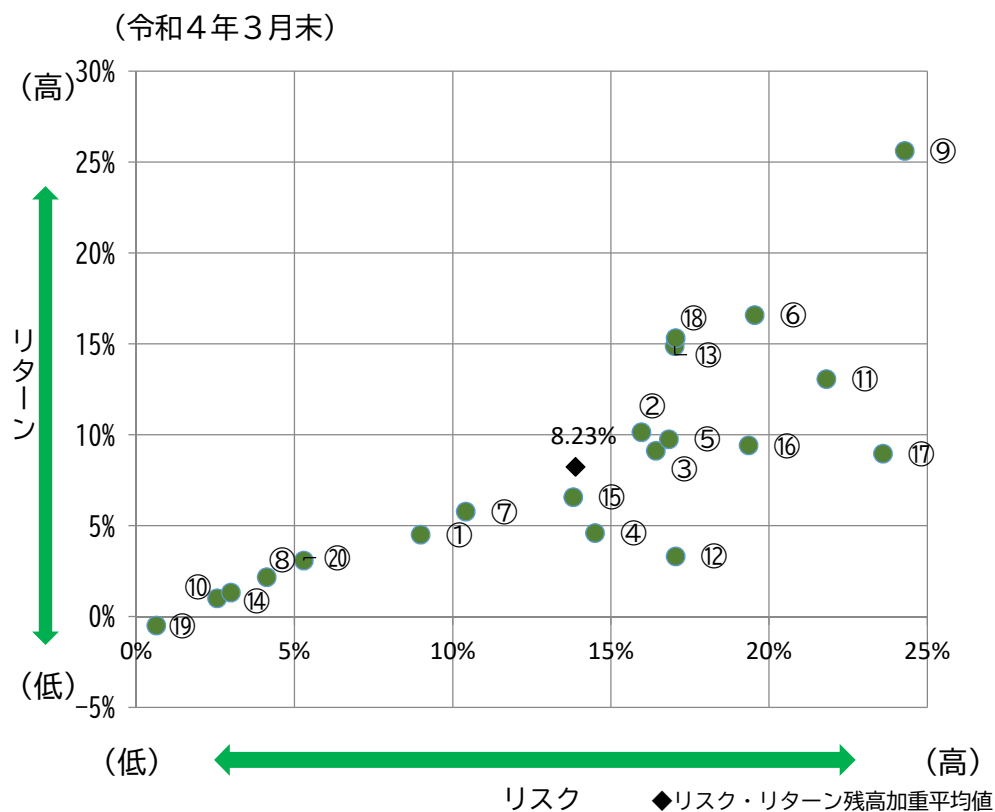
◆リスク・リターン残高加重平均値

残高加重平均値	リスク	リターン
令和5年3月末	14.93%	6.99%
前年同期比	+1.05pt	▲1.24pt

銘柄名

- ① しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
- ② グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
- ③ しんきんJリートオープン(毎月決算型)
- ④ 新光US-REITオープン
- ⑤ しんきんインデックスファンド225
- ⑥ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
- ⑦ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)
- ⑧ グローバルAIファンド
- ⑨ SMTグローバル株式インデックス・オープン
- ⑩ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
- ⑪ たわらノーロードバランス(8資産均等型)
- ⑫ たわらノーロード先進国株式
- ⑬ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
- ⑭ 新成長株ファンド
- ⑮ 投資のソムリエ
- ⑯ 三井住友・げんきシニアライフ・オープン
- ⑰ ダイワ・インド株ファンド
- ⑱ リスク抑制世界8資産バランスファンド
- ⑲ ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
- ⑳ 明治安田J-REIT戦略ファンド(毎月分配型)

3-③. 投信預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン(令和3年度末)



残高加重平均値	リスク	リターン
令和4年3月末	13.88%	8.23%
前年同期比	+0.45pt	+2.03pt

銘柄名	
①	しんきん3資産ファンド (毎月決算型)
②	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
③	しんきんインデックスファンド225
④	しんきんJリートオープン (毎月決算型)
⑤	新光US-REITオープン
⑥	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)
⑦	しんきんグローバル6資産ファンド (毎月決算型)
⑧	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)
⑨	グローバルAIファンド
⑩	リスク抑制世界8資産バランスファンド
⑪	新成長株ファンド
⑫	三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑬	SMTグローバル株式インデックス・オープン
⑭	投資のソムリエ
⑮	明治安田J-REIT戦略ファンド (毎月分配型)
⑯	ワールド・インフラ好配当株式ファンド (毎月決算型)
⑰	ダイワ・インド株ファンド
⑱	しんきん公共債ファンド
⑳	ニッセイ／パトナム・インカムオープン